

群指数パターンによる解釈

☆ V I Q, P I Qの値と対応する典型的なパターン

パターン①



得意

- ・視覚的な処理
- ・絵や図の理解や操作

苦手

- ・聴覚的な処理
- ・ことばの理解や操作

〈支援例〉

- ・視覚的な手がかりを用いる。
- ・具体物を使用する。
- ・実践させる。

パターン②



得意

- ・聴覚的な処理
- ・ことばの理解や操作

苦手

- ・視覚的な処理
- ・絵や図の理解や操作

〈支援例〉

- ・ことばで説明を加える。
- ・ことばで定義づける。(例：図形の特徴をことばで説明する。)
- ・一つずつ順を追って説明する。

☆ 群指数1つが落ちているパターン

パターン③



得意

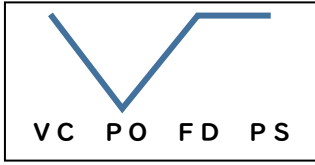
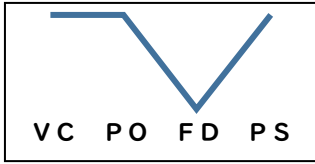
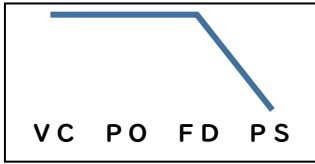
- ・視覚的な処理
- ・絵や図の理解や操作
- ・聴覚的な記憶（複雑な言語理解を伴わないもの）

苦手

- ・ことばの理解や操作


〈支援例〉

- ・視覚的な手がかりを用いる。
- ・具体物を使用する。実践させる。
- ・覚えるべき内容は、簡単なことばで分かりやすく伝える。

| | | |
|---|----|---|
| パターン④ | | |
|  | 得意 | <ul style="list-style-type: none"> ・聴覚的な処理 ・ことばの理解や操作 ・形を正確にとらえることや、視覚的な記憶 |
| | 苦手 | <ul style="list-style-type: none"> ・形の操作，空間的な情報の把握・処理 |
| <p>〈支援例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ことばで説明を加える。 ・ことばで定義づける。(例：図形の特徴を言葉で説明する。) ・一つずつ順を追って説明する。 ・頭の中だけで考えさせずに，(形の操作等では) 具体物を使う。 | | |
| パターン⑤ | | |
|  | 得意 | <ul style="list-style-type: none"> ・ことばの理解や操作 ・視覚的な処理 ・絵や図の理解や操作 |
| | 苦手 | <ul style="list-style-type: none"> ・聴覚的な記憶 (イメージや意味づけしにくいもの) |
| <p>〈支援例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ことばで説明を加える。・ことばで定義づける。 ・視覚的な手がかりを用いる。 ・具体物を使用する。実践させる。 ・覚えるべき内容は，意味づけして覚えやすくする。 ・聴覚的な記憶を必要とする課題 (九九等) への支援・配慮を行う。 | | |
| パターン⑥ | | |
|  | 得意 | <ul style="list-style-type: none"> ・聴覚的な処理 ・ことばの理解や操作 ・形の操作，空間的な情報の把握・処理 |
| | 苦手 | <ul style="list-style-type: none"> ・視覚的な記憶 (イメージや意味づけしにくいもの) ・不器用さがある。 |
| <p>〈支援例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ことばで説明を加える。 ・ことばで定義づける。 ・視覚的な手がかりを用いる。 ・具体物を使用する。・実践させる。 ・覚えるべき内容は，意味づけして覚えやすく伝える。 ・巧緻性を伴う課題 (筆記等) への支援・配慮を行う。 | | |

☆ 群指数2つが落ちているパターン

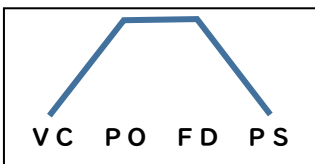
パターン⑦

| | | |
|---|----|--|
|  | 得意 | <ul style="list-style-type: none"> ・聴覚的な記憶（複雑な言語理解を伴わないもの） ・形を正確にとらえることや、視覚的な記憶 ・継次的に処理すること |
| | 苦手 | <ul style="list-style-type: none"> ・関連性の理解や類推など、複雑な処理 (聴覚、視覚ともに) |

〈支援例〉

- ・一つずつ順を追って説明する。
- ・課題の内容を分かりやすく提示する。
- ・パターンを示す。

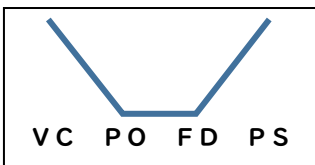
パターン⑧

| | | |
|--|----|---|
|  | 得意 | <ul style="list-style-type: none"> ・形の操作，空間的な情報の把握・処理 ・聴覚的な記憶（複雑な言語理解を伴わないもの） |
| | 苦手 | <ul style="list-style-type: none"> ・ことばの理解や操作 ・視覚的な記憶（イメージや意味づけしにくいもの） |

〈支援例〉

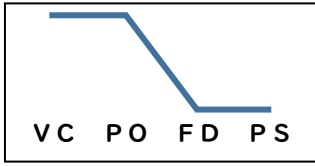

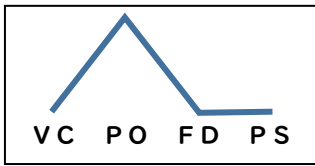
- ・視覚的な手がかりを用いる
- ・具体物を使用する。・実践させる。
- ・覚えるべき内容は，簡単なことばで分かりやすく伝える。

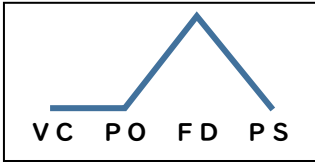
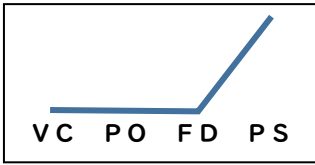
パターン⑨

| | | |
|---|----|--|
|  | 得意 | <ul style="list-style-type: none"> ・ことばの理解や操作 ・形を正確にとらえること，視覚的な記憶。 |
| | 苦手 | <ul style="list-style-type: none"> ・形の操作，空間的な情報の把握・処理 ・聴覚的な記憶（イメージや意味づけしにくいもの） |

〈支援例〉

- ・ことばで説明を加える。
- ・ことばで定義づける。
- ・覚えるべき内容は，意味づけをして，覚えやすくする。

| | | |
|---|----|--|
| パターン⑩ | | |
|  | 得意 | <ul style="list-style-type: none"> ことばの理解や操作 形の操作，空間的な情報の把握・処理 関連性の理解や，類推など，複雑な処理（聴覚，視覚ともに） |
| | 苦手 | <ul style="list-style-type: none"> 聴覚的および視覚的な記憶 （イメージや意味づけしにくいもの） |
| <p>〈支援例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ことばで説明を加える。ことばで定義づける。 視覚的な手がかりを用いる。 具体物を使用する。実践させる。 覚えるべき内容は，意味づけをして，覚えやすくする。 | | |
| ☆ 群指数3つが落ちているパターン | | |
| パターン⑪ | | |
|  | 得意 | <ul style="list-style-type: none"> ことばの理解や操作 |
| | 苦手 | <ul style="list-style-type: none"> 視覚的な処理・絵や図の理解 聴覚的および視覚的な記憶 （イメージや意味づけしにくいもの） |
| <p>〈支援例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ことばで説明を加える。ことばで定義づける。 覚えるべき内容は，意味づけをして，覚えやすくする。 | | |
| パターン⑫ | | |
|  | 得意 | <ul style="list-style-type: none"> 形の操作，空間的な情報の把握・処理 |
| | 苦手 | <ul style="list-style-type: none"> 聴覚的な処理 ことばの理解や操作 視覚的な記憶（イメージや意味づけしにくいもの） |
| <p>〈支援例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 視覚的な手がかりを用いる。 具体物を使用する。実践させる。 覚えるべき内容は，体験と結びつけて，覚えやすく伝える。 | | |

| | | |
|--|----|---|
| パターン⑬ | | |
|  | 得意 | ・聴覚的な記憶（複雑な言語理解を伴わないもの） |
| | 苦手 | ・ことばの理解や操作 ・視覚的な処理，絵や図の理解や操作 |
| <p>〈支援例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・覚えるべき内容は，簡単なことばで分かりやすく伝える。 ・課題の内容を明確にする。 ・パターンを示す。 | | |
| パターン⑭ | | |
|  | 得意 | ・形を正確にとらえること ・視覚的な記憶 |
| | 苦手 | ・聴覚的な処理，ことばの理解や操作 ・形の操作，空間的な情報の把握・処理 |
| <p>〈支援例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視覚的な手がかりを用いる ・課題の内容を明確にする。 ・パターンを示す。 | | |

言語理解（V C）が弱い子どもへの支援

【困難として考えられること】

- ことばを理解することが苦手
- ことばで表現することが苦手
- ことばを使って考えることが苦手

【認知特性から生じる困難例と支援の例】

| | 学習面 | 行動面・社会性 |
|------|--|---|
| 困難例 | <ul style="list-style-type: none"> ・指示の理解が難しい。 ・あることばを間違った意味で使うことがある。 ・文法的に不正確な言い方をする。 ・音読はできて、内容を理解していないことがある。 ・作文を書く際、内容的に乏しい。 ・文章題を解くのが難しい。 ・時間の概念を表すことばの理解が難しい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・言語的な指示が理解できず集団行動からはずれてしまいやすい。 ・日時や場所、約束等の理解と表現が不正確でトラブルになる。 ・事の流れや感情などをことばで説明できずに誤解されやすい。 ・会話に参加することが難しい。 |
| 支援の例 | <ul style="list-style-type: none"> ・言語指示はやさしいことばで簡潔に、ゆっくり、はっきり伝える。 ・一度で理解できない時には指示を繰り返す。 ・集団指示を理解できない時には個別に言う。 ・絵や図、文字やモデルを示して伝える。 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・実際の生活や場面と結びつける。 ・文章の内容を絵で示す。 ・作文を書く際、写真や資料などを手がかりとして与える。 ・文章題を解く際、キーワード（例：「あわせて」「のこりは」）に注目させる。 ・文章題の内容を絵や図で示す。 | <ul style="list-style-type: none"> ・約束は紙に書いて確認する。 ・絵や写真などを見ながらマンツーマンで会話の練習をする。 ・あいさつや約束の取り決めなど、ロールプレイを通して練習をする。 |

知覚統合（PO）が弱い子どもへの支援

【困難として考えられること】

- 目で見たことを理解することが苦手
- 動作で表現することが苦手
- 物事を空間的・総合的に処理することが苦手

【認知特性から生じる困難例と支援の例】

| | 学習面 | 行動面・社会性 |
|------|--|---|
| 困難例 | <ul style="list-style-type: none"> ・聞いた内容を頭の中でまとめることが難しい。（なぞなぞ等） ・話している内容がまとまりにくい。 ・文章を要約することが難しい。 ・量を比較することが難しい。 ・形を弁別したり，構成したりすることが難しい。 ・図形の見取り図や展開図を描くことが難しい。 ・表やグラフにまとめることが難しい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・場面や状況，相手の表情を理解できずその場に合った行動ができない。 ・位置や方向，場所などを間違えて，トラブルになる。 ・持ち物の整理や分類がしにくい。 ・社会的なルールが理解しにくい。 |
| 支援の例 | <ul style="list-style-type: none"> ・ことばで説明する。 ・ひとつひとつ順を追って説明する。 ・位置や場所などは上下左右，順序，方向，目印などを言語化して確認する。 （例：上から○段目，右から△番目） | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・部分から全体へ説明する。 （例：段落をおさえてから文章全体へ） ・頭の中だけで操作させるのではなく，具体物を用いる。 ・図形の特徴などは，ことばで定義づける。 ・モデルを提示するときには，ことばを添えて説明する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・場面や状況，その時の気持ちなどを分かりやすいことばで伝える。 ・ロールプレイを通して対人的な行動について練習する。 ・持ち物はしまう場所ごとに色分けした目印をつけておく。 ・ルールはことばを用いて一つずつ確認する。 |

注意記憶（FD）が弱い子どもへの支援

【困難として考えられること】

- ことばや数をすぐに覚えることが苦手
- 数の操作が苦手
- 注意の集中や持続が困難

【認知特性から生じる困難例と支援の例】

| | 学習面 | 行動面・社会性 |
|------|--|--|
| 困難例 | <ul style="list-style-type: none"> ・聞き間違いがある。 ・聞いたことをすぐに忘れる。 ・ちょっとした雑音でも注意がそれやすい。 ・促音や拗音などの特殊音を書き誤る。 ・書けないひらがなやカタカナがある。 ・簡単な計算が暗算でできない。 ・九九が暗唱できない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・友達の名前が覚えられない。 ・約束を覚えていられず、トラブルが生じやすい。 ・相手の話を最後まで集中して聞いていられない。 |
| 支援の例 | <ul style="list-style-type: none"> ・注意の集中を促してから話しかける。 ・言語指示や説明は簡潔に行う。 ・一度で理解できない時には指示を繰り返す。 ・集団指示を理解できない時には個別に言う。 ・絵や図、文字やモデルを補助的に用いる。 ・覚える事柄を意味づけして覚えやすくする。 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・紙を使って計算させる。 ・メモを活用する。 ・九九を覚えられない場合は、九九表を使ってよいことにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・覚えておくべきことをメモする習慣を形成する。 ・あいさつやよく用いる言い回しなどは、ロールプレイを通して練習をする。 |

処理速度（P S）が弱い子どもへの支援

【困難として考えられること】

- 目で見ただけをすぐ覚えることが苦手
- 形を正確にとらえることが苦手
- 物事を素早く処理することが苦手（目と手の協応の力）

【認知特性から生じる困難例と支援の例】

| | 学習面 | 行動面・社会性 |
|------|--|--|
| 困難例 | <ul style="list-style-type: none"> ・書くのが遅い。 ・文字を視写することが難しい。 ・書く時の姿勢や鉛筆等の用具の使い方がぎこちない。 ・音読が遅い。 ・形態的に似た漢字を読み誤る。 ・演算記号（＋，－，×，÷等）の理解が難しい。 ・計算が遅い。 | <ul style="list-style-type: none"> ・必要な物がすぐに見つけれられない。 ・授業の準備が間に合わない。 ・授業時間内に課題が終わらない。 ・板書を写し終えることができない。 ・活動のペースがゆっくりで、同学年集団の遊びについていけない。 |
| 支援の例 | <ul style="list-style-type: none"> ・ことばで説明する。 ・覚える事柄を、意味づけして、覚えやすくする。 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・図形の特徴などは、ことばで定義づける。 ・課題に費やす時間を十分にとる。 ・文章を分かち書きにして示す。 ・文字は子どもが読みやすい大きさにする。 ・使いやすい筆記用具（鉛筆、消しゴム等）を用意する。 ・（黒板の字など）視写する量を減らす。（例：ワークシートの使用） ・写すべき見本をなるべく子どもの近いところに置く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業によって必要な準備や用具のチェックリストを作る。 ・使う用途によって持ち物を色分けした目印を付けておく。 ・課題の優先順位を考え、授業時間内に行う課題を厳選する。 ・異年齢集団での活動を取り入れる。 |

参考資料：「軽度発達障害の心理アセスメント ～WISC-Ⅲの上手な使用と事例～」

上野一彦 海津亜希子 服部美佳子 編 日本文化科学社